

2021 年平和カンパをありがとうございます

『チェルノブイリの子どもたちへの医薬品支援』

チェルノブイリ子ども基金

チェルノブイリ原子力発電所の事故から 36 年になりますが、事故により放出されたさまざまな放射性物質は人々の健康に影響を与え続けています。被災地では今もさまざまな病気に苦しむ子どもたちが支援を必要としています。平和カンパは、そのような子どもたちに必要な医薬品のために使わせていただきました。

* * * * *

子ども基金は 1991 年から、チェルノブイリ被災地のウクライナとベラルーシの病気の子どもたちを支援しています。はじめは甲状腺の手術を受けた子どもたちが支援の対象でしたが、現在は甲状腺以外の病気の子どもたちも支援しています。

医薬品を受け取ったのは、ベラルーシ・ゴメリ州の町や村に住む、慈善団体「困難の中の子どもたちへ希望を」の会員の子もたちです。この団体は元々、甲状腺がんを発症した子どもをもつ母親たちによって、1995 年に設立されました。現在もさまざまな病気の子どもたち（血液の病気、脳腫瘍、骨の腫瘍、目の腫瘍、腎臓がん、肝臓がんなど）の支援を続けています。

なかには生後数か月などで発病する子どももいます。病気の子どもを持つ、現金収入の少ない農村部の家族や母子家庭などには、医薬品や、病院に通う交通費などの支援が必要です。

チェルノブイリ子ども基金は、甲状腺ホルモン剤、カルシウム剤、ビタミン剤を支援しています。また、子どもたちが汚染のない土地で安全な食べ物を食べながら過ごす保養プロジェクト、日本の一人の人が一人の子どもを支援する「里親支援」も行っています。



チェルノブイリ子ども基金のシールが貼られた薬を手にする子どもたち。

チェルノブイリ子ども基金

- 〒177-0041 東京都練馬区石神井町 3-16-15-408
- TEL/FAX 03-6767-8808 ● E-mail cherno1986@jcom.zaq.ne.jp
- HP <http://ccfj.la.coocan.jp/>
- ブログ <https://blog.goo.ne.jp/cherno1986jimukyoku>